

モニタリングレポート(令和3年度)					
施設名	鈴鹿川河川緑地運動施設				
施設所在地	鈴鹿市庄野町1198番地の1外				
指定管理者名	株式会社GFM				
評価担当課	スポーツ課	問合せ先	059-382-9029		
施設の運営状況	(確認方法)月次報告書, 年度事業報告書				
開館日数	358日	総利用者数	23,908人	1日当たりの利用者数	66人
開館時間	・4月1日から9月30日までは午前7時から日没まで ・10月1日から翌年3月31日までは午前7時から午後5時まで				
事業収支	(確認方法)年度事業報告書				
項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)		
指定管理料	4,670,000	4,670,000	0		
利用料金	0	0	0		
事業収入	50,000	0	▲ 50,000		
収入計	4,720,000	4,670,000	▲ 50,000		
人件費	2,900,000	3,230,524	330,524		
旅費交通費	150,000	96,548	▲ 53,452		
通信運搬費	0	0	0		
受信料	0	0	0		
消耗品費	420,000	436,240	16,240		
修繕費	300,000	0	▲ 300,000		
印刷製本費	0	0	0		
燃料費	65,000	228,163	163,163		
光熱水費	0	0	0		
賃借料	0	0	0		
手数料	0	990	990		
保険料	150,000	136,900	▲ 13,100		
委託費	110,000	0	▲ 110,000		
本部管理費	50,000	0	▲ 50,000		
備品購入費	80,000	6,449	▲ 73,551		
自主事業経費	50,000	0	▲ 50,000		
租税公課	345,000	354,600	9,600		
支出計	4,620,000	4,490,414	▲ 129,586		
収支	100,000	179,586	79,586		

評価項目	確認方法	評価	所見
業務の履行確認 (計画書や仕様書の内容を満たしているかを○×で評価してください。)	月次報告書	○	すべて適切に履行されている。
	現地調査	○	すべて適切に履行されている。
	定例報告会	○	すべて適切に履行されている。
サービスの質 (「優良・良・普通・要改善」の4段階で評価してください。)	アンケート	普通	年間の総利用者数に対しての有効回答数が少ない。
	現地調査	優良	利用者のために施設の維持管理に努め、関係機関との情報連携も円滑に行っている。
業務遂行能力 (各種財務指標等を参考に同業他社との比較も含めて○×で評価してください。)	貸借対照表	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。
	損益計算書	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。
	年度事業報告書 (事業収支表)	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。
年度業務報告書の内容評価			(適)・不適
<p>業務履行・遂行能力、施設や設備の維持管理能力、施設の管理運営能力、非常時の危機管理能力、いずれの点においても非常に安定した内容である。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、施設の利用制限などにも柔軟に対応しており、サービスの質も利用者の視点に沿って前向きに提供している。</p>			
定例報告会の頻度と内容の評価			(適)・不適
<p>毎月の業務報告は翌月初旬に提出される月次報告書の提出によって行っている。</p> <p>また、3ヶ月に一度関係課合同で報告会を開催し、報告書に関する質疑応答や課題の共有を行っている。定例報告会に関しては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、定例報告会をオンラインで実施するなど、臨機応変な対応が評価できる。</p>			
緊急時の対応評価			(適)・不適
<p>施設の立地的に河川の増水に対して、水没・流失の危険がある遊具や簡易トイレなどの設備を移動・避難など、予報等で事前に把握できる事態はもとより、ゲリラ豪雨等による急な大雨の際にも、定期で訓練を実施し、迅速適切な対応を図って被害を最小限に留める準備・体制ができています。</p>			
指定管理者の総括評価			(適)・不適
<p>平時における業務の遂行、施設の維持管理、運営に係る能力だけでなく、災害時に対する危機管理意識は責任感を持って行われており問題ない。</p> <p>特に施設内外の芝生管理と雑草処理に関しては、利用者の快適性を重視した維持管理を行っており、施設内遊具や備品等の修繕なども、常に利用者の利便性向上を念頭に置いたサービスを提供している。</p> <p>令和3年度においては実施されなかったが、施設を活用した自主事業の企画・運営を積極的に行っていくことが望まれる。</p>			
施設の課題と対策			
<p>河川敷に設置した施設であることから、大雨や台風時の増水に対するリスクはあるが、国土交通省からの占用利用の許可を以て設置しているため、大きく手を加えることは難しいため、危機管理意識を高め、連携を密に取りながら、有事の際には被害を最小限に抑えられるよう準備する必要がある。</p>			
施設の方向性			
<p>年間を通じて安定した施設利用者がおり、併設の河川防災センター、公園施設を合わせると多様な利用者が広く使用する複合的なスポーツ施設として大きな役割を担っている。新型コロナウイルス感染症の関係でバルーンフェスティバルなど中止しているイベントが今後復活してくる可能性もあることから、施設の維持修繕等を適宜実施し、今後も長期にわたって施設を継続する方向性である。</p>			